

楽しく食べることを シリーズ～まちの中の達人～

イラスト：井出幸子



今年のふれあいまつりで池袋本町のいいところを聞いたところ、COWACAがいいという声がありました。

COWACAはふれあいロード北池商店会の郵便局と踏切の間にあります。昨年5月にできたばかりのお店で、店主は上池袋在住の新島さん。

メニューを拝見するとイタリアンかなと思いましたが、店主は特に意識していないそうです。ジャンルにこだわらずにその日の旬の食材を工夫して、楽しんでいただく料理を提供しています。ときどきワイン会などのイベントも。家族連れやママ友の利用が多く、親しまれているようです。

◆この鉄鍋でカンパーニュ風パンも焼かれています。パスタ用の寸胴鍋と沢山のフライパンが下がるシンプルなオープンキッチンから、魔法のように様々な料理が生まれています。ある日、子どもの誕生日ランチか、桃の上に1本の赤いろうそくが灯されていました。〈井出〉

◆田舎風パテは嬉しいボリューム、持ち帰り可能なイタリアンソース『バーニャカウダ』、リーズナブルで絶品のエスプレッソをいただくことのできるカウンターです。ガラス瓶に収まる1袋100円のきなこクッキーは4歳のお嬢さんお手伝いして作っています。池袋本町という土地柄での店作りへの模索が伺えます。イタリアンをベースに彼なりの応用力をふくらませて根付いていってくれるのではないのでしょうか。〈青山（静）〉



池袋本町 まちづくりニュース

Ikebukuro Honcho
Machizukuri News
No.67

2019年9月発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会
http://池袋本町.net
豊島区都市整備部地域まちづくり課
問い合わせ先：
tel 03-3981-1464
fax 03-3980-5135
編集協力：防災アンド都市づくり計画室

動き出した沿道まちづくり 共同化の取り組み始まる

池袋本町では、災害に強いまちを目指して取り組んでいる中、昨年末から今年にかけて池袋本町3-20・21番街区南側の一部で「共同化事業」が動きだしました(図)。昨年11月には準備組合ができ、本年8月初旬の説明会を経て、本年度中に都市計画決定、令和2年度当初に事業組合の設立認可を受けて、令和3年度以降に工事着手というスケジュールで動いていく予定です。関係する方の熱意にもとづいて進むまちづくり、注目したい動きです。



残り時間は あとわずか 不燃化特区 助成

池袋本町地区の不燃化の促進をするために地区内で燃えない建物に建替える方に不燃化特区助成を行っています。これは10年間の事業で、その期限は2021年3月までとなります。

不燃化特区の助成を受けるためには、建物の工事が完成し登記まで行われなくてはなりません。したがって、2020年12月くらいには工事が完成している必要があります。時間があるようでももう残すところあとわずかになってきました。設計や工事には時間がかかります。助成金を利用するためには事前申請が必要となりますので、建替えを計画されている方は、お早めに区へご相談ください。

お問い合わせ：都市整備部地域まちづくり課 電話 03-3981-1464

貝塚の次は弥生住居

平成29年に池袋本町三丁目の建物の建設工事現場から縄文時代の貝塚が見つかり、たくさんの貝殻や土器が出土したことを覚えている方も多いと思います。今回は、都道の敷設工事に伴う試掘調査によって弥生時代の住居跡が発見されました。

今回発見された竪穴式住居は舗装面のすぐ下から発見され、掘り下げられた深さはいちばん深いところで30cmほどでした。よく見られる竪穴式住居はだいたい70cmから80cmほど掘り込まれているものが多いので、それから考えるとずいぶん浅い住居跡ということになります。ただ、たぶんもともと浅かったのではなく、のちの時代の開発などにより上部が削り取られてしまったものと考えられます。



しかし、約5m四方の床の部分は大変良好に残っていて、煮炊きかなにかで火を使用した跡なども残っていました。

住居跡を埋めていた土からは、縄文時代の土器なども発見されており、これからの整理作業で、さまざまなことがわかると思われます。

つれづれに一言

社会福祉法人フロンティア池袋ほんちょうの郷 山内雅代

本年6月1日に、池袋四丁目の養浩荘が移転し、「池袋ほんちょうの郷」として開設しました。都内でもあまり例がない移転による改築ができたのも、ひとえに地域の皆様のご理解とご協力があつたからこそと、心から厚く御礼申し上げます。入居されている60人の高齢者ともども、今後共よろしくお願いたします。

池袋ほんちょうの郷には、地域に必要な防災設備として、40tの貯水槽のほか、福祉救援センターに転換できる地域交流室を設置しました。地域交流室は、普段は地域のコミュニティスペースとしての活用を考慮しており、この夏は熱中症対策の一環として、給茶機を設置した「涼み処ほんちや」を試行しました。大きく宣伝こそしませんでした。本町小学校の子供達や赤ちゃん連れの皆様、近隣の方々が連日顔をのぞかせてくださいました。今秋からは子ども食堂の「ほんちよこ食堂」に、月2回の活動場所として提供する予定です。

今、地域住民が共に支えあって、誰もが地域で暮らし続けられるよう、社会のシステムを整えていくことが求められています。高齢者のことに限らず何か困ったことがありましたら、お気軽に声をかけてください。地域の一員として、一緒に様々な課題と向き合い、地域共生社会の支え手となれば幸いです。

名称は『池本だんだん公園』 池袋本町二丁目の公園

たくさんの応募の中から

前号のまちづくりニュースで池袋本町二丁目の公園の名称を募集しました。応募者数は145名にもなりました。ご協力いただいた皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

投票の結果は「池本だんだん公園」が65票、「池袋本町令和公園」が45票、「池本二丁目公園」が12票などとなり、「池本だんだん公園」への投票が一番となりました。

検討会ではこの結果を受けて「池本だんだん公園」を正式名称としました。

公園工事が始まりました

公園の工事は、施工業者が決まりました。7月31日には工事説明会が行われました。8月から工事に着手し、来年3月の完成をめざします。



池袋本町二丁目に計画中の公園位置図

工事がはじまると、近隣の皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。

検討会から育てる会へ

公園は清掃などの基本的な維持管理は区が行います。しかし、近隣住民からは公園がどのように使われるかについて不安の声も聞かれます。検討会ではその問題を話し合っています。

公園の維持管理に地元住民が関与することによって、問題を少なくしている事例があります。検討会では、活動を継続させ「公園を育てる会」として維持管理も行いたいと考えています。また、維持管理だけではなく、もっと公園を活用して、地域の方々が楽しむことができるようにしたいという声もでてきます。

公園育てにご参加を

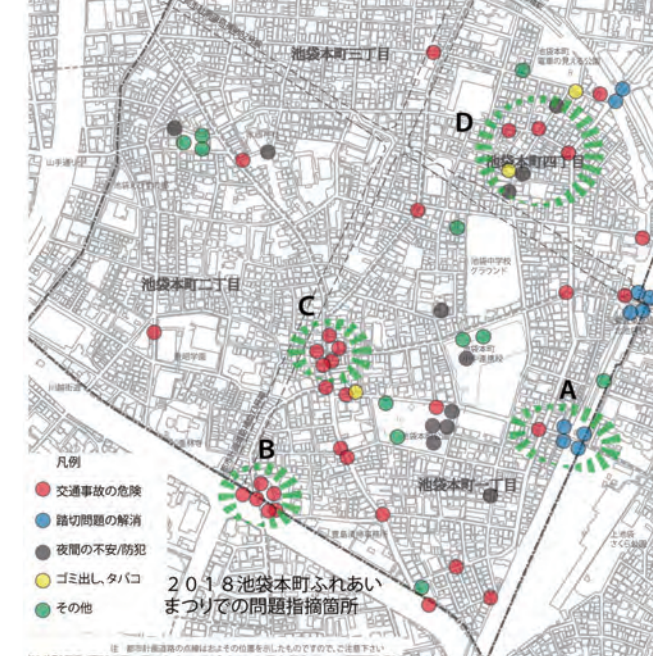
前号のまちづくりニュースで公園育てへの参加を呼び掛けたところ2人の方が新たに参加されました。

この公園育てには、定期的な会合には参加が難しいけど時間のある時に手伝いたいとか、公園を使ってやりたいアイデアがあり、そこだけなら参加したいなど、いろいろな参加ができます。まずはお声をかけてください。お申込み・お問い合わせは公園緑地課まで
電話：03-3981-0534(管理グループ)
Eメール：A0023700@city.toshima.lg.jp

交通問題箇所についてまち点検

新しいまちづくりの会では、地区内の道路の交通問題を話し合っています。ふれあいまつりでの聞き取りでは危険な交差点が指摘されています。地区内の細い道での交通事故も報告されています。地区内の道路では歩行者よりも自転車の事故が多いのが特長です。豊島区では事故が発生した交差点でさまざまな対策を講じています。しかし、十分な効果が得られていないのが現状です。

ふれあいまつりで指摘があった「問題箇所」。交通事故の危険箇所がたくさんあります。



新しいまちづくりの会での検討
交差点の写真を見ながら話し合いました。

課題の自転車マナー

自転車の事故が多い理由として、自転車利用者のマナーの問題があるとの指摘もあります。自転車は軽車両ですから、車と同じルールを守らなければなりません。しかし、

- 左側通行を守らない
- 一時停止を守らない
- 片手運転・傘さし運転
- スマホなどのながら運転

特にこれらのマナーが守られていないようです。

マナーの問題は住民ひとりひとりが注意しなければならないことです。その前に、そもそも交通ルールを知らない人も多いのではないかという意見も寄せられました。

今年のふれあいまつり

今年も恒例の池袋本町ふれあいまつりに新しいまちづくりの会も参加します。今年の企画は次のもの。是非、お立ち寄りください。

●まちづくりのご意見を

- ①ここを何とかしたい
- ②まちのいいところ
- ③懐かしの池袋本町

右の部分に書き込んでお持ちいただければ景品をさしあげます。その場でも参加できます。

●やってみよう自転車運転ゲーム

自転車の運転方法をゲームで学びます。大人も子供も参加できます。参加された方には景品を差し上げます。

●縁台で懐かしおもちゃで遊ぼう

池袋本町ふれあいまつり

日時：令和元年10月13日(日)～14日(月・祝)
10時～
場所：池袋本町公園

まちづくりのご意見シート

ご意見項目に○をつけてください

- ①ここを何とかしたい
- ②まちのいいところ
- ③懐かしの池袋本町

特別養護老人ホーム 池袋ほんちょうの郷 完成

小中連携校の南側に建設中だった特別養護老人ホームが完成しました。施設には60名の高齢者が入居されています。

この敷地は防災ひろば用地として区が所有していたものです。この敷地に高齢者施設を建設できないかとの打診があり、区全体で不足している施設であり、また、災害時には福祉救援センターともなることから建設が決まったものです。

建物の入り口の脇には街に開くことができる地域交流室ができました。地域の皆さんの寄り合いの場所として活用していきたいものです。



周辺との調和を図った外観



コミュニティの場となる地域交流室



屋上庭園を望む3階の集会室